

○議長（古畑浩一君）

磯貝総務課長。〔総務課長 磯貝恭子君登壇〕

○総務課長（磯貝恭子君）

お答えします。

市役所におきまして公務員については、休暇制度、比較的充実しているというふうに思っております。市のほうとしても、法律にのっとった休暇制度の整備をしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

市役所が、やはり表立って出ていただいて、それにまた民間が追随するような形に取っていただけたらと、そのように思います。

支援や介護が必要になっても、自立した生活が送れるように介護サービスの基盤の維持、確保に努めてほしいことであるとか、あるいは地域住民同士による安否確認や見守り体制の充実を図り、住み慣れた地域で安心して生活できることを希望して、私の一般質問を終了いたします。ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

以上で、渡辺栄一議員の質問が終了いたしました。

昼食時限のため暫時休憩といたします。

再開を13時30分といたします。

〈午後0時25分 休憩〉

〈午後1時30分 開議〉

○副議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

午前中に引き続き一般質問を行います。

次に、田原洋子議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。〔10番 田原洋子君登壇〕

○10番（田原洋子君）

こんにちは。田原洋子です。

通告書に基づき、1回目の質問をいたします。

1、シーサイドバレースキー場とシャルマン火打スキー場の今後の方針について。

シーサイドバレースキー場は、糸魚川インターチェンジから車で15分、糸魚川駅からバスで乗

換えなしで行ける立地にあり、初級者から上級者まで楽しめる多彩なコースに、食事、温泉、宿泊までそろっていて、グリーンシーズンはオフロードバイクの愛好者が集まります。

また、シャルマン火打スキー場は、パウダースノーと非圧雪エリアがあり、中級・上級者コースが多く、積雪量の多さからゴールデンウィークまでオープンしているのが特徴です。

管理運営費の高騰などに伴い、令和6年12月には入浴施設利用料、令和7年12月にはリフト利用料及び宿泊施設利用料の上限額が改定されています。

糸魚川市内のスキー場の今後の方針について、令和7年12月15日の建設産業常任委員会にて、シーサイドバレースキー場は、令和8年度から民間事業者への譲渡に向けて具体的な手続等を行う、譲渡に向けた手続は令和10年度までをめどとする。シャルマン火打スキー場は、令和8年度から令和10年度までの指定期間の中で、令和11年度以降の民間事業者への譲渡について検討すると説明がありました。

このことが新聞などで報じられたことにより、市民の中には「シーサイドバレースキー場は今年いっぱい閉鎖されるのか。」と不安に感じている方もいるようです。

糸魚川市内にスキー場があることで、冬にスポーツをする機会ができ、雪は大変なものとしてネガティブなイメージではなく、雪国ならではのよさに気づくきっかけにもなっているのではないのでしょうか。

これらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 指定管理者の指定期間がシャルマン火打スキー場は3年、シーサイドバレースキー場が1年となっているのはなぜですか。
- (2) シャルマン火打スキー場のクワッドリフトの運休は、何が原因で、再開のめどは立っていますか。
- (3) シーサイドバレースキー場の第二ロマンスリフトと第三ロマンスリフトの運休は、何が原因で、復旧後、今シーズンは問題なく運行できる見込みですか。
- (4) 市内にスキー場がなくなった場合、スキー授業は市外のスキー場を利用するのですか。
- (5) シーサイドバレースキー場とシャルマン火打スキー場の指定管理料の額の違いの根拠は何ですか。
- (6) 利用料金の見直しで、経営状態は改善されましたか。
- (7) スキー場の在り方について、住民説明会を行う予定はありませんか。
- (8) 民間譲渡ができなかった場合、スキー場の運営はどのようになりますか。
- (9) シーサイドバレースキー場で開催されるケツゾリ JAPAN CUPに、テレビで有名な「お祭り男」を招待する計画はありませんか。

2、図書館の在り方について。

糸魚川市では、子供の読書離れ（特に高学年以上）が進んでいることから、10か月健診を受ける親子に絵本をプレゼントするブックスタート事業があり、令和6年度からは母子手帳交付時に「プレブックスタート」、2歳児健診時に「セカンドブックスタート」を開始しました。

令和6年度から10年度にかけて「第3次糸魚川市子ども読書活動推進計画」が策定され、はじめに（趣旨）のページでは「子供たちは成長の過程で多くの本に出会うことで言葉を学び、表現力や想像力を高め、人生をより豊かに生きる力を身につけていきます」と鶴本教育長の言葉がつづら

れています。

この推進計画では、学校では「入りやすい学校図書館づくり」、図書館では「利用しやすい環境づくり」などが主な取組として掲げられています。

久保田市長が市内13か所で開催した地域懇談会では、市民から「子供たちにもっと本を読む機会を。」という意見がありましたが、久保田市長の「学校の図書館を開放して地域の方が来て、使えるようにする。」という趣旨の説明を聞いていた市民の方からは、「不特定多数が学校に入るのはセキュリティの面から難しいのではないか。」という疑問の声がありました。

糸魚川市民図書館、青海図書館、能生図書館は、毎週月曜日が定休日（祝日に当たる場合は、その翌日に休館）ですが、学校行事で土日に登校があると、振替休日は月曜日となり、図書館に行きたくても休館していることとなります。

これらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 糸魚川市民図書館の雨漏りはいつから始まり、どのような修繕がされていますか。
- (2) 図書館は本や雑誌、新聞を読む、借りるほかにどのような機能があると考えていますか。
- (3) 土曜自習室を拡充して、図書館はいつでも子供が安心して過ごせる場所に整備する考えはありませんか。
- (4) 駅北広場キターレが中学生、高校生の勉強の場として人気であることをどう捉えていますか。
- (5) 隣の糸魚川歴史民俗資料館（相馬御風記念館）と一体化して、人件費、管理料を削減し、その分を図書館の整備、図書購入費用に回す考えはありませんか。
- (6) 図書館を建て替える場合、国や県の補助金は図書館機能のみで対象になりますか。
- (7) 学校の図書室を市民に開放する場合、どのようなことをクリアしなければいけませんか。
- (8) 図書館の休館日が月曜日である必要はありますか。
- (9) 利用しやすい環境づくりとして、具体的に取り組んでいることは何ですか。
- (10) 糸魚川市内の図書館の蔵書数や図書の購入費は、同じような人口規模の他市町村と比べて平均的ですか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

田原洋子議員のご質問にお答えします。

1番目の1点目の指定期間の違いにつきましては、シーサイドバレースキー場は、8年度から10年度の間には譲渡に向けた準備を進めるため、指定期間を1年としております。

2点目のシャルマン火打スキー場のクワッドリフト運休につきましては、老朽化による山頂滑車部の故障であり、今シーズンは稼働できない状況であります。再開に向けては、修理に係る見積り結果等を踏まえながら、今後の対応について協議してまいります。

3点目のシーサイドバレースキー場のリフト運休につきましては、電気系のトラブルによるものであり、2月3日に復旧しております。

4点目のスキー授業につきましては、小学校、中学校ともに、学習指導要領により、スキーのみに限らず、自然との関わりでの深い学習を、地域の実情に応じて行うことが奨励されていることから、状況に合わせて各学校で検討してまいります。

5点目の指定管理料の違いにつきましては、それぞれの施設の経費と収入の見込みにより、指定管理者が算定した額を根拠としているためであります。

6点目の使用料金の見直しにつきましては、シーズンの途中であり、現時点では、影響について把握できておりません。

7点目の住民説明会は予定しておりませんが、スキー場の関係者説明会は、随時、実施してまいります。

8点目の民間譲渡ができなかった場合の対応につきましては、現時点では方針決定しておりません。

9点目のケツゾリ JAPAN CUPに「お祭り男」を招待する計画につきましては、今現在、予定はありません。

2番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしく願いいたします。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

 蘆本教育長。〔教育長 蘆本修一君登壇〕

○教育長（蘆本修一君）

 田原洋子議員のご質問にお答えいたします。

2番目の1点目の図書館の雨漏りにつきましては、6年10月に3階で少量が確認され、応急的に雨水を排水する対応をしております。

2点目につきましては、図書館は本や雑誌、新聞を読む、借りるを中心として、学習、調査及び研究を支援する機能や、居場所の提供、本を通して住民同士がつながるという機能があると考えております。

3点目の土曜自習室につきましては、参加者が非常に少ないため、支援員と意見交換し、運営方法の見直しを検討しております。

4点目のキターレが勉強の場になっていることにつきましては、図書館には友人同士、会話をしながら学習できるスペースがないため、気軽に利用できる施設として活用されていると捉えており、今後の図書館運営の参考にしたいと考えております。

5点目の歴史民俗資料館との一体化による経費節減につきましては、窓口を一本化して、経費を削減することは有効であると考えており、検討してまいります。

6点目につきましては、図書館のみの建て替えに関する国や県の補助金はありません。

7点目につきましては、学校の図書室を市民に開放する場合、不特定多数の利用者が出入りするため、セキュリティ面が課題と捉えております。

8点目の休館日につきましては、特に月曜日である必要はなく、利用者の意見等によっては、変

更も可能であります。

9点目の利用しやすい環境づくりにつきましては、今年度から学習室に蓋つきの飲料水を持ち込んで水分を取ることを可能とし、また、会話ができる図書館イベントも開催しております。

10点目の図書館の蔵書数や新書の購入費につきましては、県内の同程度の人口規模の自治体と比較して、蔵書冊数は平均以上であります、図書の購入費は平均を下回っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

では、今回も市民の方からいただいたご意見や疑問、提案を基に再質問させていただきます。

まず、順番を入れ替えて、2の図書館の在り方について質問いたします。

久保田市長にお聞きします。

縮充を進める中で、図書館と歴史民俗資料館は、現状の形で維持するのが望ましいのか、それとも改修するのか、完全に建て替えるのか、それともほかの方法があるのか、基本的な方針は、久保田市長の中にありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

これにつきましては、担当課からの意見をお聞きして、多角的な面から検討しなければいけないと思っております。

また、縮充という言葉が出てきましたけども、縮めていくのではなくて、縮まざるを得ない状況について、どのように充実させていくのかという観点で縮充というものを捉えておりますので、多角的な観点で今後の在り方については対応させていただきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

では仮に、すぐに建て替えだとか大規模改修には取りかかれないので、現状のまま今の図書館をそのまま利用していくといった場合、まず、雨漏りの問題を解決しないといけないのではないかと思っております。糸魚川図書館の雨漏りは、6年10月、3階から少量のということをお聞きしているんですが、私、この図書館の質問をするに当たって見に行ったところ、まず、2階から3階に上がる階段の踊り場付近の天井から水が垂れている。垂れたからだと思うんですけど、じょうごで水を受け止めるようになっていて、チューブを伸ばして観葉植物の鉢に流れるようにもなっていました。壁も湿気なのか、ちょっとクロスなのか、ちょっとぷよぷよしてて、ここに水が入ってるかど

うかというのはちょっと私分らないんですが、この状態であるということはよくないんですが、今現在、雨漏りの心配は、雨漏りは止まっている状態なんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

川合生涯学習課長。〔生涯学習課長 川合三喜八君登壇〕

○生涯学習課長（川合三喜八君）

今現在の雨漏りにつきましては、止まっている状況であります。今、議員おっしゃるとおり、天井裏に雨水を受ける受皿を設置しまして、そこからホースで排水しているような形ですが、生涯学習課の職員も屋上に上りまして、シーリング等の補修を行っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

担当課の職員自らシーリングとか行っていただいて、雨漏りを今止めていただいている状態だということですが、図書館、建て替えなければ、やっぱりそのまま使うということで、もしですよ、屋根の雨漏りを全体的に修繕するとなった場合、例えば予算だとか見積りだとか期間とかはどのぐらいかというのは検討されてるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

川合生涯学習課長。〔生涯学習課長 川合三喜八君登壇〕

○生涯学習課長（川合三喜八君）

防水工事につきましては、やはり全面の屋上防水が必要になると思います。取りあえず一番高いところの陸屋根の防水工事の見積りを取りましたら、1,000万以上かかるというふうに結果が出ております。ですので、全体的な防水ということになりますと多分2,000万、3,000万かかると思います。図書館自体が昭和56年建設ということで、非常に全体が老朽化が進んでおります。今後の整備方針等を定める中で、全体的な防水についての実施についても判断していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

昭和56年ということは、かなり年数もたっていて、当時建ってた図書館と今、ほかで整備されている図書館と雰囲気も違うし、逆にこの糸魚川図書館のシーンとしてののがレトロでいって方もいらっしゃれば、今図書館はもうちょっと明るくて会話もできて何か図書館以外の楽しさもあるんだよってところも、時代の流れだったりとかそういうのもあると思うんですが、いろいろあると思います。

また、先ほどの市長答弁にもありまして、やっぱり図書館というのは、本を借りたりとか知識を増やす場所ではなくて、やっぱり居場所づくりとしてすごく重要だと思っています。駅北に

建設予定だった駅北子育て支援複合施設のところには、計画では学習スペースだとか図書スペースという計画がありました。これができることによって、図書館はシーンとしてるのでちょっと子供が行くにはちょっと不安だわって思ってる方も、複合施設の中の新しいところであれば、子供が遊んだりとか夏休みの宿題できる場所になると期待されてた方もいます。大人の方でも、今の図書館というのは椅子が限られているので、決まった方が新聞だとか本を読めるので、行っても座る場所がないってご意見来てて、駅北に新しい図書館、スペースがあれば期待したいって声があったんですが、それは残念ながら中止になったので、今度こそ糸魚川の図書館にそういった機能を持たせなきゃいけないと思っています。それについて、どのような考えをお持ちでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

川合生涯学習課長。〔生涯学習課長 川合三喜八君登壇〕

○生涯学習課長（川合三喜八君）

令和6年に、図書館の利用者にアンケート調査を行いました。やはり議員がおっしゃるとおり、ゆっくりと本を読むスペースがないということで、特に糸魚川市民図書館は、長椅子のソファと本当に書棚の脇に椅子が点在する程度で、やはり半日ゆっくり本を読めるような、ゆったりとしたそういったスペースをもし改修するのであれば、そういったものを含めて行っていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

先ほどあったキターレもそうなんですけど、糸魚川高校の総合的な探究の時間、たしか第1回目だったと思うんですけど、そこで発表された高校生のチームでは、やっぱり教え合うというのがすごく勉強に有効だという内容の発表があったと思います。キターレのいいところは、おしゃべりしながらとかお菓子食べながらとか、ちょっと気軽な雰囲気勉強するというのがすごく行きやすいんだろうなと思ってますが、やっぱり今の、従来の図書館だと、さっき蓋があったりとかするのは、ドリンクは持込みができるようになった。飲食するときはロビーでお願いしますとなっておりますが、やっぱりどうしてももうシーンとして勉強する、何かすごく閉じ籠もるみたいなイメージがあって、なかなか2階まで上がりにくいのかなと思いました。

また、子供たちが、本を選んでこれ楽しそうだよねとか言っても、声出しちゃいけないみたいな雰囲気があるので、小学生がよくやる音読とかもあの場所ではやりにくいのかなと思っています。なので、ぜひとも、まず、図書館リニューアルに、大規模改修という形になるのか内容を見直すときに、大人たちだったり静かに読みたい方と子供たちとかみために少し声を出したいよねとか、ちょっと自由に過ごしたいよねってところの、例えば階数を分けるなり、そういった考え方って検討していただけますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

川合生涯学習課長。〔生涯学習課長 川合三喜八君登壇〕

○生涯学習課長（川合三喜八君）

私も担当になりまして、他市の図書館を数多く見学をしました。やはり広いスペースで読み聞かせをしたり、いろんな会話が非常に盛んに行われております。やはり学習室も、非常にフリースペース的にみんなが気軽に学習できるような雰囲気でありました。やはりそういった部分が、今の市民図書館にはやはり欠落してる、ない部分だと思いますので、市民がゆっくりと過ごせるような、憩いの場になるような、そういった図書館にしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

では、通いやすい図書館という意味で定休日が月曜日である必要はないということなのですが、青海図書館と能生図書館は、複合施設の中にあるので図書館だけ月曜日営業しますとかいうのは、私はちょっと難しいのかなと思ってます、施設全体の定休日ってものがあるので。

ただですよ、糸魚川の図書間というのは独立してる図書館なので、例えば三つある図書館のうち一つだけでも月曜日は空いてるといったほうが、子供たちが振替休日で休みの月曜日に行ける場所になるのではないかと思います。そのような、図書館によって定休日を変えるということは可能なのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

川合生涯学習課長。〔生涯学習課長 川合三喜八君登壇〕

○生涯学習課長（川合三喜八君）

図書館ごとに定休日を変えることは、可能であるというふうに考えております。実際、月曜日に、今定休日にした理由は、以前も実は毎月第三月曜日を閉館しておった時期があったんですが、そのときに他の曜日と比べて利用者が非常に少ないということで、そのときに曜日の変更も検討したんですが、やはり月曜日が一番少ないという理由で今に至っております。今現在は、木曜日と金曜日の利用が少ない状況でありまして、議員おっしゃるとおり、3館の休館日をずらせば、いずれか開いておれば市民の方がご利用しやすくなるように思われますので、それについては検討させていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

月曜日が休みというのは、子供の振替休日だけではなくて、美容師さんとか理容師さん、それから車の販売会社とか整備士とかも結構月曜日休み、それから飲食店も月曜日休みってところが多いかと思います。今まで図書館に行きたくても行けなかった方が利用できるような方法があれば、検討していただければと思います。

先ほど、土曜自習室の利用が少なくて方法の見直しをしたいということだったんですけど、ちなみに夏休みとか長期休暇のときの子供たちの利用状況はどんなのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

川合生涯学習課長。〔生涯学習課長 川合三喜八君登壇〕

○生涯学習課長（川合三喜八君）

土曜自習室につきましては、毎月の利用がほとんどなく、場所によっては、もうゼロ人というケースが多い状況であります。

逆に、やはり夏休み、冬休みにつきましては非常に利用が多いので、ニーズに対応するというこ
とで、今回、毎月の土曜自習室は一旦ストップしまして、夏休み、冬休みに集中した開催にしたい
というふうに思っております。

あと、秋の読書週間につきましては、土曜日の実施を考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

夏休み、冬休みもそうなんですけど、本当に夏休みは家に1人であるのが不安とか、例えばエア
コン代もかかるので図書館に行って本を読んだりとかで勉強したりとか宿題やるときに、例えばそ
こには大人とかボランティアさんがいて、見てくれるってことがあったらすごくはかどるんじやな
いかと私は期待しています。

では、糸魚川図書館に隣接している糸魚川歴史民俗資料館、相馬御風記念館について質問します。

4月から組織の改編で、歴史民俗資料館は、相馬御風資料館は、文化振興課、図書館は生涯学習
課、これが合わさって文化スポーツ課になります。つまりですよ、縦割りではなくて図書館は図書
館、資料館は資料館ではなくて一体型に、例えば御風さんとか良寛の資料を見たら、その本をさら
に勉強したいとか借りたいと思う方がいらっしゃると思うんですけど、今、建物が別ですよ。な
ので、これをですね、例えばこっちにあるのとこっちにあるのを入れ替えて、こっちは子供が使い
やすく、こっちはすごく勉強したい人とかいうふうなことが考えられないかと思うんですけど、
その辺の検討ってされるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

嵐口文化振興課長。〔文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○文化振興課長（嵐口 守君）

お答えいたします。

4月から新しい組織になりますけれども、今こういった時代、御風映画等もございまして、歴史
民俗資料館、4月からいろいろなパターンでチャレンジしてみたいと思っておったところです。そ
ういった研究、例えば図書館と歴史民俗資料館をつなげた場合とというのも今までやってきたこ
とがございましてけれども、そういったもの、また、いろんなパターンがあるかと思っておりますので、検討
してみたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

ちょっと通告書の範囲外になってしまうかもしれませんが、相馬御風の宅、大町にある相馬御風宅より資料館のほうが入館者数が少ないんですね。なので、私、昨日ゆっくり見てみたんですけど、この資料は、相馬御風宅にあったほうがいいんじゃないかなとか思うものも多々ありました。それも踏まえて、せっかく映画の撮影、オールロケで糸魚川でされますので、展示物を入れ替えるなり差し替えるなり期待しております。

ではですね、歴史民俗資料館、エレベーターがないので2階に行ける方が少ないと思うんですけど、これとかの改修とか、例えば展示物を入れ替えるとか1階に集めるとかというのは無理なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

嵐口文化振興課長。〔文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○文化振興課長（嵐口 守君）

エレベーター化につきましても、昨年ですか、図書館と合体しないかということでいろいろ検討してみた経過はございます。今の施設ですと、なかなかつきません。新たに整備をするときにそういったことを考えますけれども、当面、今建物が元気なうちは、つけるにしてもかなり費用がかかりますけれども、なかなか難しい課題だと認識しております。あれば便利なのは承知しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

なので私は、エレベーターがないので歴史民俗資料館のほうに子供たちが行けるスペースが2階とかにあれば、子供たちは車椅子のこととかベビーカーの方もいらっしゃるんですけど、利用しやすいのかなと思いました。

小千谷市にオープンした、ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」、図書館機能を核として、誰でも自由に見学できる郷土資料館、市民活動の場、子供の遊び場、カフェが入っている施設です。これと同じものを私、糸魚川に作れって要求してるんじゃないかと、糸魚川図書館の立地というのは、ここの市役所があって、市民会館があって、そこには飲食店があり、隣には体育館があり、目の前は公園、しかも小学校、中学校、高校に近くて、駅とバス停があるんですよ。こんなにいい立地のところはほかにはないと思うので、ぜひここは図書館を核にして、みんなが行きやすく、何かあったときにそこにいたら安心だよとか、行く場所として、ぜひ10年後を見据えて検討をして改修していただければと思います。

では、学校の図書室について、質問いたします。

13会場で行われた市長懇談会、私は初日の上越三市議会合同研修会と重なったため初日だけ行けませんでした。12会場全て傍聴いたしました。学校の図書室を開放していくという市長のアイデアはいいんだけど、やはりさっき答弁にあったとおり、セキュリティの面が心配だという点でした。誰でも、ちょっと図書館に来るって、不特定多数が学校に入るのは学校のセキュリティ面か

ら不安であるのであれば、では、保護者がですよ、学校に行くときに子供と一緒に図書室に行って、本を借りたらどうかと思うんですよ。例えば学習発表会とか運動会とかスポーツフェスティバルって名前のあるところもありますが、保護者が学校に行ったときにお子さんと一緒に本を選べば、これはお父さんが昔読んだ本だよとか、お母さんこれ楽しそうだと思うんだけどとか、おじいちゃんおばあちゃんだって、この本いいんじゃないかなとかいうふうなお声がけできると思うんですが、そのような取組はできそうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

小川こども教育課長。〔こども教育課長 小川豊雄君登壇〕

○こども教育課長（小川豊雄君）

お答えいたします。

大変面白い取組だと思います。

ただ、その本を紹介するとかという場合に、そういった行事の日にそういった時間が取れるかとか様々な点は検討しなきゃいけないと思いますが、可能性については否定するものではないというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

私、西海中学校では、読書マラソンみたいのがあって、読んだページを図書委員会が100人いる全校生徒のグラフをやって、誰が一番本読んでるよとかいう取組もしていました。必ず読書の時間というのを設けられててすごく図書室、必ず図書委員会が行って開けなきゃいけないってぐらい本に親しむ機会がありました。

ただ、本が、読まないとか苦手という方の中では、子供の頃、宿題で読書感想文を書くために何となく強制的に本を読まされたとか、作文が得意じゃないのに読書感想文が苦手ですごく嫌だったという苦手意識が根づいている方もいます。

私の友人も、子供がですよ、読書感想文書けなくて書けなくて困ってると。私は作文が得意だったので、どうやって読書感想文書いたらいいんだって相談されたことがあります。そのときにですね、私、読書感想文は、まず、なぜその本を選んだのかから書くと書きやすいと。表紙が面白そうとか、例えばハリー・ポッターとかみたいに映画の原作だとかいうのがあります。例えばシリーズもので、前に読んだら面白いから続きが読みたいとか、ぜひですね、今、読書感想文強制的かどうか分からないですけど、もしですよ、苦手意識がある方は、読書感想文に対してもそのような手厚いことをしていただければと思っています。

では、1のシーサイドバレースキー場とシャルマン火打スキー場の今後の方針について、再質問いたします。

先日の一般質問でも、スキー場について質問がありました。再度、確認させてください。

スキー場は、閉鎖を前提としておらず、民間譲渡について協議をしていく。新年度は、譲渡の調

査の予算計上をしている。民間譲渡に応募がなかった場合の方針は決定しないということで間違いありませんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

今、田原議員おっしゃられたとおりで進める予定でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

では、民間譲渡に当たって、シーサイドバレースキー場が1年契約、指定管理の期間が1年となっていることで、あと1年で閉鎖されると不安に思われている方が多い理由は何だと思われますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

多い理由という聞かれ方をしましても、私どもに1年で閉鎖するのかという問合せを直接市にはいただいておりますので、ちょっとそちらの理由については、今回の答弁では差し控えさせていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

ではですね、民間譲渡の調査を新年度行うということなんですが、調査を行うのであって、すぐに1年で譲渡先が見つかったりとか、譲渡の募集をかけたりできないと思うんですよ。それなのに1年の期間を設けてるということは、さらに、また1年ごとにシーサイドバレーは指定管理者として更新をしていく方針なんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

シーサイドバレーも本来であれば3年間の期間ということで指定管理者の指定をしておりましたが、今回こういった市の譲渡に向けた方針のほうを株式会社シーサイドバレーの取締役会で協議させていただいた上で、1年間の更新をするということで提示させて、令和8年度は1年間ということで指定させていただいております。

本来であれば指定管理者制度につきましては、例えば1年目がマイナスの取組であっても3年間の期間の中でトータルプラスになるような取組が期待されるところでございますが、今回について

は譲渡先等が決定する時期が未定であることから、通常の3年間として譲渡先を3年間を指定して途中で契約を解除するよりも1年間の更新のほうが、指定管理者と指定管理者にかかる負担とリスクが少ないというふうに判断したものであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

それであれば、なぜシーサイドバレーは1年で、シャルマン火打スキー場は3年なんでしょうか。同じスキー場の譲渡を検討するのであれば、この違いは何であるかを説明してください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

両スキー場の取組の時期の違いという部分ですけれども、まず、シーサイドバレーが先な部分について、まず、ネガティブなほうからですね、施設の老朽化度合いに差がございます。それは、市または指定管理者に伴うリスクの回避という部分で、シーサイドバレーを先にしております。

また、これまでに指定管理者評価委員会の評価等におきまして、シーサイドバレースキー場はC評価、シャルマン火打はB評価ということになっております。

また、立地条件の差としまして標高差、シーサイドバレーはボトムが240でトップが740メートル、シャルマン火打はボトムが500メートルでトップが1,009メートルということで、雪の心配の差がございます。これがネガティブな部分ですが、逆に、シーサイドバレーを先にするポジティブな要素としましては、根知エリアに全体に点在する魅力的な観光コンテンツがあること、こういった部分が譲渡にとって有利に動くのではないかとということで、シーサイドバレーを先に進めております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

では、シーサイドバレースキー場を先に検討していくという方針が理解できました。

それでは、シーサイドバレースキー場で、子供たちにスキーを教えている市民の方から、1年の更新だったので、来年から子供たちどうするんだってやっぱり心配の声をお聞きしてます。あと、ほかの方から、学校行事というのは4月頃に1年間の計画を立てるから、1年後は、今年は、次のシーズンはいいとしても、その次のシーズンとかはスキー授業どうするんだとか、スキースクールどうするんだっていったときに最低2年、3年は必要なんじゃないかと。来年どうなるか分からないのに学校行事組めないとか、例えばスキースクールに携わってる人も、いや、再来年の仕事がないんだったら、ほかのスキーの依頼を受けてたよってこともあり得るとおっしゃられました。これについて、学校側とかは、取りあえずシーサイドバレー、シャルマンが継続してるという前提でスキー授業とかしていくと思うんですが、どうしていく方針なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

小川こども教育課長。〔こども教育課長 小川豊雄君登壇〕

○こども教育課長（小川豊雄君）

お答えいたします。

やはり学校としましては、基本的に市内の施設を使うというのが大前提でございます。そのことから考えると、シーサイドバレーですとかシャルマンとかを第一義として考えていくことは当然だと思いますが、ただ、今ご指摘のように、決定する時期、あるいはこれを決定した後に状況に変化が生まれたら、やはりその辺は臨機応変に対応していくということになるかと思えます。その場合は、場合によっては市外の施設等も対象といたしますか、目的地に入れて検討していくということになるかと思えます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

では、スキー授業について、市内の子供たちだけではなくて、かなり富山県からとかの受入れもあると思うんですが、今現在、シーサイドバレースキー場、シャルマン火打スキー場の市外からの受入れというのは、どのぐらいあるもののでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

シーサイドバレースキー場につきましては、毎年度、市内だけではなくて、ご指摘のように富山県等からの学校の受入れがあるとは聞いておりますが、申し訳ございません、現在今、資料のほう、数字のほうをつかんでおりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

シャルマン火打スキー場におきましては、県外のお客様が非常に多いスキー場ということですが、大変申し訳ございません、市外からの授業でのという数字は、現在持ち合わせておりません。申し訳ございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

令和5年9月、建設産業常任委員会の休憩中の報告として、糸魚川市スキー場管理活用等調査業務委託の結果についての資料があります。経済波及総効果額、生産誘発額は、シーサイドバレースキー場が3億6,200万、シャルマン火打スキー場が3億7,500万円となっています。スキー場があることで、糸魚川にとってどのような経済効果があるとお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

冬季観光としての拠点施設ということは申し上げたとおりでございますが、観光に係る経済消費額、糸魚川市に落ちる観光の消費額、経済効果は約400億円から450億円ということで認識しております。そのうちの3億6,200万、3億7,500万円程度をスキー場が担っていただいているというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

では、同じ資料で運営収入分析で指摘されている売上げ全体に占める料飲、料理の「料」と飲食の「飲む」を合わせた言葉ですが、売店の売上割合が少ない、あとリフトの販売券種が少ないについては、どのような改善が図られているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

調査業務からの指摘を踏まえた、業務改善がどのように進んでいるかということかと思いますが、実際に両スキー場とも指定管理料の変化がない状況でございます。イコール指定管理者の利益も変わっていないものというふうに捉えておりますので、本業務に関する指摘について経営改善がされたかということについては、現状では明確な答えが出ていないという状況かと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

ほかのスキー場とかだと、例えばリフト券だけではなくて単品販売ではなくて、温泉入浴券とのセットだったりとか、例えばリフト券と1,000円分の食事券のセットでお得ですよというような券が発売されていることが多いです。例えばリフト券を使い終わったリフト券を持っていくと、その日のうちに温泉入浴施設が割引になるといったところもあります。

このように、アフタースキーの消費を取り組むような方法とか何かそのプラスにやってみたってことはあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

両スキー場とも、指定管理者制度を平成18年から導入しております。指定管理者の創意工夫ですとか経営努力によって、市の経費負担を少なくしたいというのが狙いになっております。実際にご指摘の部分について、具体的な取組がされているかという部分については、正直こういった取組をしているという部分は申し上げにくいのが状況かと思えます。どちらのスキー場とも、先ほど来申し上げておりますが、これまでも市からも有識者、専門家等の様々な経営改善の提案は行ってきております。会社としても様々な努力はされてきていると思いますが、経費の節減という部分では結果が出ていないものというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

ということは、まだまだ経営改善についてやれる余地はたくさんあるというふうに私は認識しております。例えばですよ、シーサイドバレースキー場、おそばがおいしいとか温泉があることで有名なんですが、残念ながらホームページには、歩荷茶屋やホワイトクリフというのは載っていても、例えば写真1枚載ってないんですね、おそばの。シャルマン火打スキー場は、おいしそうなおカツカレーだったり海洋高校のハンバーガーとかが載っていて、これが今でいうグレ食、ゲレンデの食事に入れているというふうな方向だと思います。ぜひともホームページとかで、こんなおいしいものが食べられるんだとか、あと今はラーメンがすごくおいしくて、口コミにはなってるんですけど、何が食べられるのかが分からないので、ぜひ改善していただければと思います。

それでは、先ほどから住民説明会は行う予定はないんだがということですが、シーサイドバレースキー場の取締役会、臨時株主総会では、どのような意見が出たのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

取締役会への説明については、おおむね市の方針についてご理解をいただいたというふうな最初の感想でありました。

ただ、議員もご指摘のように、シャルマンとの違いという部分については質問いただいたというふうに捉えております。

また、臨時株主総会につきましては、2月の18日に約32名ほどの方がお集まりになって、我々も説明、または質疑応答させていただいております。株式会社糸魚川シーサイドバレーは、シーサイドバレースキー場を引き受けるために地元を中心に出資を集めて設立された会社でございますので、やはり設立当時の思いが非常に強いなというのをお聞きできたというふうに思っております。

ただ一方では、現在のこれまでの会社の経営に対する提言ですとか市の取組に対する応援的な発

言もいただいたというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

一般質問の内容が、新聞等とかあとインターネットの通告書で読むことができるので、市民の方からお電話いただいて、私がお聞きしたのはですよ、スキー場というのは、体育施設と何が違うんだと。例えば体育館とかは、もうかる施設じゃないけど体を動かすだとかスポーツをするというために、糸魚川市にとって必要な施設だと。スキー場と体育館と何が違うんだってご意見がありました。このような、スポーツ施設としてスキー場は必要であると私は考えますが、久保田市長はどのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

私自身も、保健体育科の教員でありますので、スポーツに資するいろんな施設の運営、また場所、大変必要なものだと思っています。それを基にして、私は、今度は行政マンとして、じゃ、その施設の在り方だとか継続していく方策だとか費用対効果だとかという観点に立って、今度は考えなきゃならん。だから、私自身は糸魚川にある施設については、やっぱり必要なものを残していくという方向性は持っていますので、その中で今ある施設についての持続させるためにはどうすればいいのかという部分は、やっぱりいろんな対話の中から、また担当課、行政のやっぱりいろんな知恵、アクションの取り組み方、いろんな観点から残していくもの、そうやって残すのであれば、こういうふうに改善すべきものだという部分でちゃんとストーリーをしっかりとしつらえた上で、やっぱり議論する必要があると思います。ぜひ糸魚川の子供たち、また糸魚川に来ていただくためのツール、場所というものは大事にしたいなと思っています。それには、またまた10年後を見据えているような検討を加えていきたいと思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

シーサイドバレースキー場が1年契約、1年更新だったことがあって、根知の地域の方から心配の声が上がっているのは、小学校が今年度で大野小学校と統廃合になってしまう。保育園も、僻地保育園も入園者がいないので、そのまま閉園になってしまう。これでシーサイドという、根知の核、核になる施設ですよ、それまでがなくなったらという、やっぱりちょっと寂しさというのを感じられてる方が多いんですよ。昔はこうだったよねという話と、今現在雪が少ないだとか使い方が違ってきているということ、まだ理解されてない方も多くいらっしゃるようです。ぜひ根知の

方からだけではないんですが、やっぱり私も旧糸魚川市民で、ナイターで滑ってたような人間だったので、例えばシーサイドバレースキー場を残すためには何か住民として協力できることがあるんじゃないかという前向きなご意見もいただいています。ぜひですね、市長懇談会やったときみたいに皆さんからシーサイドバレーとかシャルマンも含めて、残すためには、私だったらこういうアイデアがありますとか、私だったらこれは少しは手伝いますというような意見いただく場所が必要だと思うんですけど、早急に開けていただけないでしょうか、市長。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

当然そういう対話の場が必要だと思いますけども、私自身、22日ですか、市民スキー大会のほうに行かせていただいて、関係者からいろんな話を聞いています。市民から要望があることと、やっぱりそこに携わる人たちがどうすれば残していくんだという、やっぱりレベルが違うんですね。そこに携わる人たちが、こういうふうな人たちと、いわゆる関係を持って、そういう人たちに参画してもらってという具体的な部分をお聞きして、その後こういう方向があるんだけど、地域の皆さんは、それについてどう考えですかというふうにして流れをつくっていきたいなと思っています。いきなり何でもかんでもお聞きするという対話だと、やっぱり実現性のないものをずっと議論してもしゃあないんで、実現性のあるものにきちっと踏まえながら対話をして、じゃ、こうすればもっといいよねという部分があれば、それをまたお伝えしていくという、やっぱり循環的な対話が必要なんじゃないかなと思っています。私自身、しっかり汗かいて、いろんな方々からの情報を仕入れて、今後対応していきたいと思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

そうですね、スキー場は、決してもう廃止するわけではなくて、残すためには、じゃ、どうしていくんだと。経営に対してどういうふうな意識を持ってやっていくのだというのはすごく根本的に大事なところだと私も思っています。ぜひとも子供たちが、市内でスキーを楽しめるとかスキーを通じてスポーツができるってことを絶やすことなく進んでいけたらと思います。

では、靄本教育長にお聞きします。

糸魚川の子供たちが雪に囲まれて、地元で近くでスキーができるということは、子供たちの成長にとってどのような利点があるとお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

靄本教育長。〔教育長 靄本修一君登壇〕

○教育長（靄本修一君）

お答えいたします。

雪国育ちで、どこが出身だって聞かれたときに、大人になってからですね、新潟県の糸魚川市というふうに言ったときに、他県、他市の皆さん方が、必ずスキーできるだろうというようなことは必ず返ってまいります。それぐらいにやっぱり雪国で育っている。一体的に体で覚えてくるという部分については、やっぱりスキーというふうな部分は欠かせないんじゃないかなというふうには私は考えてます。雪に親しんで、雪国のよさを体感し、そして、自分の体でもってスキーを操作できる。そして自信を持って、自分は滑れたというふうな達成感・満足感というふうな部分も捉えます。体の筋肉の養成、体幹的な、基本的な部分の体づくりの根本というふうな部分については、やっぱりスキーという運動を通して、自分自身が身につけていくんだらうというふうに思います。だとすると、やっぱり糸魚川で生まれ育った子供たちにとっては、冬季のスポーツ、例えばスキー、代表的なスキーというふうなことを位置づけますという、やっぱり大事に育てていきたいなというふうには思ってます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

私はですよ、スキーというのは子供だけでできるスポーツではないので、必ず保護者なり誰か近所の方なりとかに連れてってもらった場所だと思ってるんですよ。つまりですよ、親子の愛着形成、一緒にスキーに行くとか隣でリフト乗るとかいう、すごく子供の成長にとって、体を動かすだけではなくて、連れてってもらったとか連れてってあげたいという気持ちがある、すごく大事だと思ってます。

小学生のお子さんがある能生のご夫婦から、子供がスキー授業でシャルマン火打スキー場に行ってからスキーにすっかりはまってしまって、もう休みになると連れてってこれというふうにはせがまれていると。ご夫婦は2人とも、正直言ってスキーは全くしてなかったんだけど、子供と一緒にいくために2人してウェアを買って、スキー板はレンタルでもいいとおっしゃってるんですけど、やっぱり子供がスキーの楽しさに目覚めたから親も一緒にやるようになるんですね。子供が連れてって言うから親も連れてくんですよ。なので、そういう面で、糸魚川のスキー場というのは、すごくプラスに働いていると思っております。

最後に、シーサイドバレースキー場で開催されるケツヅリ JAPAN CUP、これ3月に開催されて、今からお祭り男を招待するのは無理だと思うんですが、市長、参加しませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

ぜひ参加したいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

市長が参加するというので、この中にいる皆さんの中で、たしか3人1組のチーム戦だったと思うので、副市長とか部長、課長、それから、糸魚川で、かなりインスタグラムではやっている、命果てたい5人の漢たちですね、ぜひとも参加して、はっぴを着てですよ、緑の、地下足袋はいて、わっしょいって感じで、糸魚川のスキー場が楽しい取組しているということを伝えていただきたいと思います。

私、今日は図書館とスキー場について質問しました。両方に共通しているのは、糸魚川の子供たちが育っていく上で大事な場所であって、そこが行き場所だということなんですよ。雪が降るから家の中にいるんじゃなくて、安心してスポーツが楽しめる場所、安心して夏休み過ごせる場所、家と学校以外に行ける場所というすごく大事な場所だと思ってます。そのことも踏まえて、スキー場と図書館の在り方を再検討していただき、よりよいスキー場と図書館運営をしていただきたいと思っています。

以上で、私の質問を終わります。

○副議長（保坂 悟君）

以上で田原洋子議員の質問が終わりました。

ここで暫時休憩いたします。

再開を2時35分といたします。

〈午後2時29分 休憩〉

〈午後2時35分 開議〉

○副議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、東野恭行議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

東野議員。〔12番 東野恭行君登壇〕

○12番（東野恭行君）

みらい創造クラブの東野恭行でございます。

発言通告書にのっとり、1回目の質問をさせていただきます。

1、糸魚川市の教育現場の課題について。

文部科学省「令和6年度公立学校教職員の人事行政状況調査」より、この調査の項目の中に、精神疾患による病気休職者等の数が上げられておりますが、その数は7,087人、全教職員数の0.77%となっております。教職員の精神疾患による病気休職の要因に関して教育委員会に調査したところ「児童・生徒に対する指導」については26.5%、「職場の対人関係」については23.2%、「校務分掌や調査対応等の事務的な業務」については12.7%を占めています。糸魚